SPORTS NEWS 01

2021全日本ボクシング選手権大会にて、加藤光選手が優勝、大畑俊平選手が準優勝に輝く

東京都・墨田区総合体育館で2021年11月24日からの5日間、2021全日本ボクシング選手権大会が行われました。
創部1年目の本学ボクシング部女子部門からは加藤光選手（経営学部会計ファイナンス学科1年）が女子ライトフライ級で出場し、決勝では拓殖大学の選手に5対0の判定で優勝。さらに技能賞も獲得するなど素晴らしいスタートを切りました。
また、男子ライト級では大畑俊平選手（経営学部会計ファイナンス学科3年）が準優勝に輝きました。
全日本ボクシング選手権大会は、過去に本学卒業生である現WBA世界ミドル級スーパー王者の村田諒太選手など第一線で活躍している選手を輩出したアマチュアボクシング国内最高峰の大会です。今後もボクシング部の躍進に期待が膨らみます。

ボクシング部集合写真

優勝し技能賞を獲得した加藤光選手

SPORTS NEWS 02

関東大学ラグビーリーグ戦1部2部入替戦で本学ラグビー部が勝利し、29年ぶりに1部復帰へ

関東大学ラグビーリーグ戦1部2部の入替戦が2021年12月11日、埼玉県・熊谷ラグビー場で行われました。本学ラグビー部は所属している2部で今シーズン2位となり、1部で7位の中央大学と入替戦で対戦し26対21で勝利。1993年度以来、29年ぶりとなる1部復帰を決めました。
試合は本学が先制を浴びせるも一進一退の攻防が続き、後半19分には19対21で中央大学が逆転。しかし後半25分に相手側の反則の流れを受けて今度は本学が逆転に成功すると、終盤の猛攻撃を懸命のディフェンスにより耐え切り、ノーサイドを迎えました。
昨シーズンでは2部で優勝と結果を残しましたが、コロナ禍の影響で入替戦が行われなかった経緯もあり、2年越しの悲願達成となりました。果敢にチャレンジし続ける本学ラグビー部の選手たちが、1部の舞台においても活躍する姿に期待が高まります。

SPORTS NEWS 03

全日本レスリング選手権大会 女子フリースタイル76キロ級で鏡優翔選手が2連覇を達成

2021年12月16日、「天皇杯」令和3年度 全日本レスリング選手権大会が東京都・駒沢体育館で開催され、本学レスリング部の鏡優翔選手（社会学部メディアコミュニケーション学科2年）が女子フリースタイル76キロ級に出場し、決勝戦での接戦を制して2連覇を成し遂げました。決勝では積極的に攻撃をしかけるなかで相手に先制を許したものの、持ち前の攻め続けるレスリングを貫いて同点となり、激しい攻防の末、2対2で試合は終了。ラストポイントを奪った鏡選手が勝利しました。
昨年5月の世界選手権出場をかけた選考会では、右足首のじん帯に怪我を負った状態で出場し、無念の敗退。悔しさをバネに復帰にむけて練習に取り組み、見事大会連覇の栄冠を掴み取りました。2024年の五輪パリ大会へ出場し、女子最重量級初の金メダル獲得を目指す鏡選手の今後に注目が集まります。

写真提供：日本レスリング協会

SPORTS NEWS 04

アイススケート部ホッケー部門が日本学生氷上競技選手権大会で優勝し、2連覇達成

2021年12月、北海道・帯広の森アイスアリーナで第94回日本学生氷上競技選手権大会アイスホッケー競技（ファーストディビジョン）が開催されました。本学アイススケート部ホッケー部門は29日の決勝まで勝ち進み、対戦相手の明治大学に勝利し、優勝の栄冠に輝きました。試合は本学が先制点を決めるも、その後競り合いながら進む緊張感のある展開でしたが、7対5で勝利。3年DFの武部太輝選手（社会学部社会文化システム学科3年）が大会MVPに、FW 久米誠斗選手（社会学部社会文化システム学科4年）、FW 小堀雄太郎選手（社会学部社会文化システム学科4年）、DF 木村俊太選手（社会学部社会文化システム学科2年）、GK 佐藤永基選手（社会学部社会文化システム学科2年）の4名がベストシックスに選出されました。
今回の優勝によって、冬のインカレを2連覇、さらに今季秩父宮杯、秋のリーグ戦と合わせた年間3冠を13年ぶりに達成。シーズン公式戦を無敗で終え、名実ともに大学日本一となりました。

SPORTS NEWS 05

陸上競技部女子長距離部門が2021富士山女子駅伝にて奮闘

2021年12月30日に2021全日本大学女子選抜駅伝競走（富士山女子駅伝）が開催され、静岡県・富士山本宮浅間大社の鳥居前から富士総合運動公園陸上競技場までを走る7区間 計43.4kmのコースを、本学を含む24チームが競いました。1区を走行した下里芽依選手（食環境科学部食環境科学科2年）が区間4位で好スタートを切り、中盤の4区では佐竹結衣選手（食環境科学部食環境科学科3年）が集団での競争を制して順位を上げ、区間5位で襷を繋ぐなど要所で懸命な走りを見せました。最後は2時間30分04秒でゴールし前大会と同じ13位で終わりました。
昨年10月の全日本大学女子駅伝対校選手権大会に出場することができず、現在のチームとして挑む最初で最後の駅伝となった今回のレースでは、1・2年の下級生の多くが主要区間を担当し、大きな経験を積むことができました。大学女子駅伝のレベルが年々上がっており、本学でもチーム全体の強化に向けた新たなチーム作りをしていきます。

1区 下里 芽依選手

4区 佐竹 結衣選手

SPORTS NEWS 06

サッカー部男子部門・女子部門から13選手がプロ・アマサッカークラブに加入 <2022年2月4日現在>

本学サッカー部男子部門から6名、女子部門から7名の計13選手が、プロ・アマサッカークラブと契約し、2022年シーズンより加入することが決まりました。新しい舞台での活躍にご注目ください。

青木 祐太選手
国際観光学部
内定先：
Honda FC
（JFL/日本フットボールリーグ）

牛久保 鈴子選手
食環境科学部
内定先：
ノジマステラ神奈川相模原
（WEリーグ）

大森 大地選手
国際観光学部
内定先：
アルビレックス新潟
シンガポール
（シンガポールプレミアリーグ）

笠嶋 哲太選手
国際観光学部
内定先：
ブリオベッカ浦安
（関東サッカーリーグ1部）

神山 京右選手
国際観光学部
内定先：
カターレ富山
（J3リーグ）

佐々木 葵選手
食環境科学部
内定先：
伊賀FCくノー三重
（なでしこ1部リーグ）

塩谷 瑠南選手
食環境科学部
内定先：
バニーズ群馬FC
ホワイトスター
（なでしこ1部リーグ）

澁澤 光選手
食環境科学部
内定先：
大宮アルディージャ
VENTUS
（WEリーグ）

出来村 亜美選手
食環境科学部
内定先：
ノジマステラ神奈川相模原
（WEリーグ）

中原 藍選手
食環境科学部
内定先：
バニーズ群馬FC
ホワイトスター
（なでしこ1部リーグ）

中村 勇太選手
国際観光学部
内定先：
ヴェルスパ大分
（日本フットボールリーグ）

林 みのり選手
食環境科学部
内定先：
大宮アルディージャ
VENTUS
（WEリーグ）

横山 塁選手
国際観光学部
内定先：
モンテディオ山形
（J2リーグ）

卒業生速報 SPORTS

大相撲令和4年一月場所において、御嶽海関（2015年法学部卒業、出羽海部屋所属、本名大道久司さん）が3度目の幕内優勝を果たし、本学卒業生力士として初となる大関に昇進しました。

北京冬季五輪のスキー・アルペン競技2種目に安藤麻選手（2019年法学部卒業）が出場し、女子ジャイアントスラローム（大回転）で24位、女子スラローム（回転）は途中棄権となりました。

NEWS 01

「在学生アンケート」からウィズコロナ2年目を迎えた学生の声を紹介

本学では学生一人ひとりの学修行動、成長実感・満足度等を把握し、教育活動等の自己点検・評価、そして改革・改善の検討を図るため、毎年在学生アンケートを実施しています。
2021年11月から実施したアンケート調査では、「大学に入ってから、新型コロナウイルスの影響で断念したことはありますか」という質問に対し、約半数の学生が『部活・サークル活動』『友人との交流』と回答。また海外渡航が難しい状況から短期や長期の『海外留学・研修』と回答する学生もいました。「今後、新型コロナウイルスの事態が収束した後、経験したいことはありますか」という質問においても『友人との交流』『部活・サークル活動』の回答数が最も多く、学生間の活発な交流を待ち望む声が大きいことが改めて感じられました。次いで多かった回答は『資格・免許の取得』で、アフターコロナに向けた新たなチャレンジへの意欲も見られる結果となりました。

- 回答期間：2021年11月19日～12月17日
- 対象：学部1～4年生
- 回答率：39.5%（11,670人）
- 回答方法：ToyoNet-ACEによるWebフォーム（全18問）

※アンケート結果の詳細は、東洋大学公式Webサイトで公開しています。
東洋大学TOP ＞ 東洋大学について ＞ IR（Institutional Research） ＞ 学生アンケート ＞ アンケート結果
www.toyo.ac.jp/about/ir/survey/results/

Q 大学に入ってから、新型コロナウイルスの影響で断念したことはありますか。（複数選択/上位7項目）

部活・サークル活動	54.4%
友人との交流	46.8%
海外留学・研修（短期）	26.3%
ボランティア活動	19.8%
アルバイト	19.7%
海外留学・研修（長期）	17.6%
資格・免許の取得（教育実習・現場実習等を含む）	12.0%

Q 今後、新型コロナウイルスの事態が収束した後、経験したいことはありますか。（複数選択/上位7項目）

友人との交流	46.6%
部活・サークル活動	38.0%
資格・免許の取得（教育実習・現場実習等を含む）	34.4%
海外留学・研修（短期）	29.6%
ボランティア活動	27.1%
国内インターンシップ	23.4%
アルバイト	21.6%

NEWS 02

2021年度「井上円了が志したものとは」の入賞者表彰式を挙行

2021年度「井上円了が志したものとは」の入賞者表彰式が、2021年12月21日に白山キャンパスにて執り行われました。このコンテストは、本学創立者井上円了の大いなる志はどのようなものであったのかを、教育理念等を中心に探究し、自分の生き方や現代社会に照らし合わせ今後にどのように活かしていくかを考え、文章にまとめ表現した優秀な作品を選出するものです。今年度も多くの作品が集まり、学長賞（最優秀賞）については東洋大学生の部では奥西極さん（大学院文学研究科1年）の『「独立自活」―学問の自由の防波堤であれ―』が、一般の部では広林真理子さんの『教育界で働いている私が円了先生から励ましをもらった』が受賞しました。
表彰式にはオンライン参加を含め優秀作品に選ばれた10名が参加。矢口悦子学長、小林秀年井上円了哲学センター長、久野裕之甫水会副会長が祝辞を述べ、奥西極さんが入賞者を代表して受賞スピーチをしました。多くの人々に学びの機会を与えた円了に触れ、現代社会の学びに受け継ぐ貴重な機会となりました。

NEWS 03

学生同士が学部・学年を超えて切磋琢磨。2021年度 英語スピーチコンテストを開催

片山侑芽さん

2022年1月8日に、国際教育センター主催による第7回英語スピーチコンテストを白山キャンパスにて開催しました。
今年度の英語スピーチコンテストでは、新型コロナウイルス、SDGs、気候変動、東京オリンピック・パラリンピック等のいずれかのテーマを選んでその調査研究を行い、一人5分のスピーチ原稿を作成して発表。予選を勝ち抜いた代表の13名で、学部・学年を超えた本選が行われました。
今回1位に輝いた片山侑芽さん（国際観光学部国際観光学科2年）は、SDGsの目標4「すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」に関するテーマを選び、貧困や性差別により教育を受けられない子どもが世界に多くいる現状を語り、自身の活動経験をもとに今からできることを訴え、同年代の行動を促すスピーチをしました。当日の様子はYouTube Liveで配信をし、学生たちの語学学習の成果を多くの方に視聴いただきました。今後も本学は、学生の英語スキル向上を図る取り組み・環境づくりに努めていきます。

NEWS 04

日本語学習成果を発表する2021年度 日本語プレゼンテーションコンテストを開催

バホディロフ アクバルジョンさん

2022年1月8日に国際教育センター主催による日本語を母語としない学生を対象とした第4回日本語プレゼンテーションコンテストを白山キャンパスにて開催しました。
今年度は『これからのSDGs -未来に向けた提言』をテーマに、2030年の目標達成年までに何をすべきかを学生自身の専門にもとづき、スライド等を用いて発表。予選を勝ち抜いた8名の出場者は皆、流暢かつ高度な日本語を使いこなし、論理的かつ独創的なプレゼンテーションを展開しました。1位と観客賞を受賞したバホディロフ アクバルジョンさん（国際学部グローバル・イノベーション学科3年）は、『学校給食での残食と日本社会での食品ロスに向けた対策』を学校給食の残食率に着目して問題提起し、各学校での取り組みに加えて、アプリを活用した残食の「見える化」を通じて食べ残しを減らす意識付けを図り、教育に取り入れることで問題解決につながると提言しました。
本学では、留学生の日本語能力の向上、日本での就職を視野に入れたビジネス日本語教育にも力を注ぎ、学術・実務の双方で活躍するための日本語力養成を推進していきます。

NEWS 05

2024年4月に向け朝霞キャンパスの整備工事における安全祈願祭を挙行

鍬入之儀を行う安齋理事長

朝霞キャンパス既存校舎の改修ならびに新校舎等を建築する整備工事の安全祈願祭が2022年2月2日に執り行われました。本学関係者として安齋隆理事長や矢口悦子学長をはじめ、朝霞市長、設計監理の石本建築事務所、施工主の大林組が参列し、鍬入之儀や玉串奉奠などが行われました。
2024年4月には、板倉キャンパスの生命科学研究科・生命科学部と食環境科学研究科・食環境科学部食環境科学科フードサイエンス専攻および健康栄養学科、川越キャンパスの理工学研究科生体医工学専攻・理工学部生体医工学科が朝霞キャンパスに移転し、時代のニーズに適した生命（いのち）と食に関する研究科と学部学科が集結する新たな学術拠点となる予定です。キャンパスごとの強みを明確にし、強みを生かして地域の課題解決に貢献していきます。